

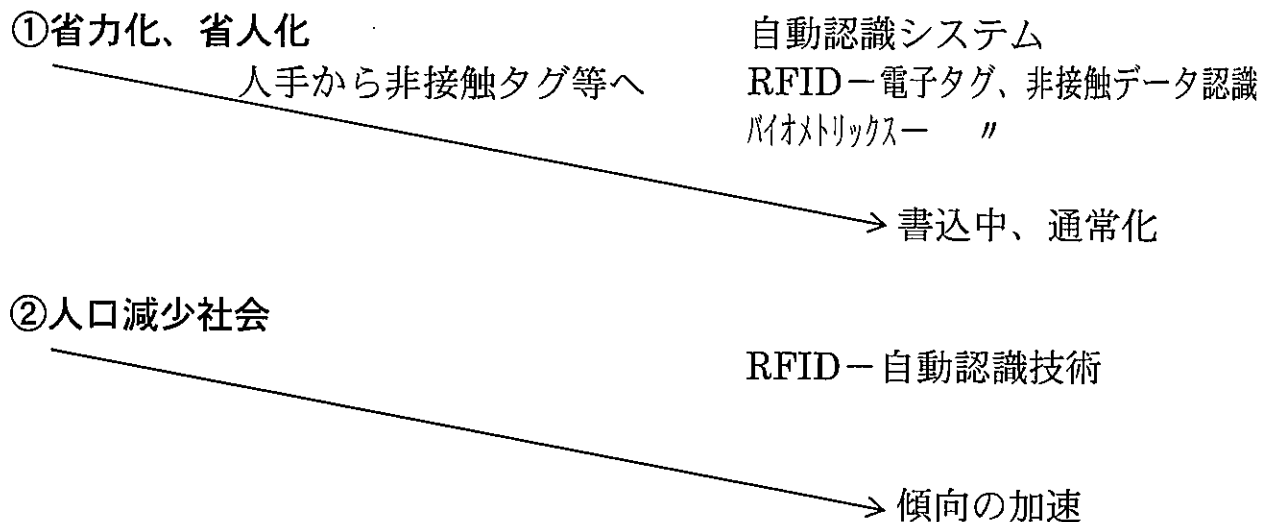
第9回 AI と経済

会計と経営のブラッシュアップ
平成 30 年 6 月 25 日
山内公認会計士事務所

本レジュメは、次の各書等を参考にさせていただいて作成した。(人工知能と経済の未来 2030 年雇用大崩壊 井上智洋著 2016.7 文芸春秋)
(激流 国際商業出版 2017.4~18.7)

I. 省力化の行方

1. 第四次産業革命後の経済



- ①は②の必要から生まれたものか、そうではない、必要性から生まれたのだ!!
②の結果①が生まれたのか、そうではない、①は必要性から生まれたのだ!!
①は②と関係なく生まれたか、必要性が要因である!!
③事務(人手)の電子化が急速に進んでいる!!

2. 流通業界と第3世代のAI

流通業界にも、第四次産業革命の波が押し寄せてきた。人工知能(AI)、ロボット、センサーなどの技術が業務の至る所になだれ込み、労働集約型産業の代表とされてきた流通業も急激に省力化が進む。急速に、深刻化する一方の人手不足を克服するためにも、技術の壁、コストの壁に挑戦しなければならない。

これを克服することのキーワードは「AI」である。

- (1) 第2世代までに出来たこと — 情報検索とカーナビ
- (2) 現在は第3世代のAIである。

第3世代のAIにできることは、

- ① 一般画像認識、ディープラーニング
- ② 顔から感情を推定、年齢、性別を推定
- ③ 超画像、小さな画像を拡大しディテールを想像により補うこと
- ④ 白黒→カラー変換
- ⑤ 衛星写真→地図変換
- ⑥ 昼間の風景→夜景変換
- ⑦ 輪郭→写真変換
- ⑧ 写真→言葉で説明
- ⑨ 説明文→写真を生成
- ⑩ ニューラル翻訳→一文から全体

RFID (radio frequency identifier)

ID 情報を埋め込んだ RF、IC タグから近距離の無線通信

変わりゆくもの

既存のものが衰退し、新しいものが出てくる…

(それは知能という目に見えないものだ) ある環境の中で機能を発揮する特定の仕組みであって、その見えない相互作用こそが知能である。

人工知能で引き起こされる変化は、「知能」という、環境から学習し、予測し、そして変化に追従するような仕組みが、人間やその組織から切り離されるということである。人工知能で引き起こされる変化、産業的な変化、そして個人にとっての変化……

(松尾豊「人工知能は人間を超えるか」より)

短期的(5年以内)には、会計や法律といった業務の中にビッグデータやAIが急速に入り込み活用さ^れるであろう。

中期的(5～15年)に起こるものに「異常検知というタスク」がある。

これは、高次の特徴表現学習であり、「何がおかしい」ことを検知できるAIの能力が急速に上がってくる。

こうした仕事は、基本的には「センサー+AI」に任せ(例えば遠隔地にあるエレベータ、高速道路を運送中のトラック)、その「何かおかしい、発生した問題」に人間が対応するものである。

長期的(15年以上先)には、人間の仕事として重要なものは大きく2つに分かれるであろう。

一つは「非常に大局的でサンプル数の少ない難しい判断を伴う業務」

これらは、経験や歴史に学んだりするしかない。

他は「人間に接するインターフェースは人間の方がよい」

これらは人間対人間の仕事である。(上記の書から要約)

2017. 4. 21 フォーラムニースで見た

知能は人間を超えるというものの入り、出る……

3. 物流業界の改革

(1) 物流施設

ベルトコンベア、フォークリフトに代り、搬送、倉庫の出入、荷降し等の作業を自動化できるロボット…搬送ロボット アマゾン、ニトリ

(2) ピッキング

ロボットが商品棚を運ぶ — 作業員は動かなくともよい

アスクルの横浜センター — ロボットによるピッキング

画像認識の技術により(人間の2倍の速度、夜間)

(3) IC タグ、RF タグ

アパレルのビームス

— 全商品に IC タグを装着

店舗と自社物流センターの商品データに IC タグ
複数タグの一括読取りにより端末をかざす
だけで複数商品の会計や検品、在庫管理、
棚卸なども瞬間に行うことが可能になる
人を増やさずに売上を拡大できる仕組み作り

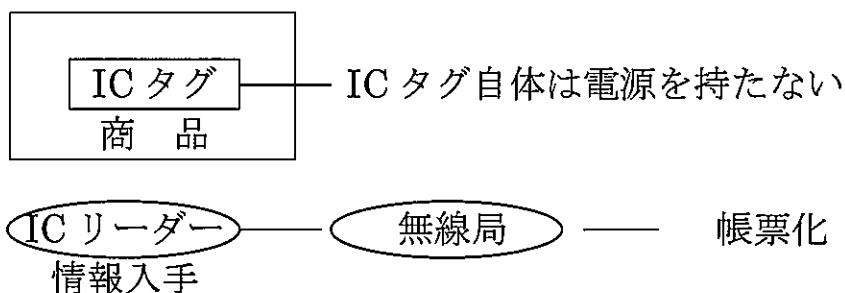
(4) アマゾン Go

— センサー、カメラの活用
将来のレジの変化

(5) トラックドライバーの減少

— 2006 年全国 90 万人…毎年 1 万人ずつ減少

実世界のオブジェクトを、
デジタルの仮想世界と結
びつけて認識や操作がで
きるようになるという点
が、社会的に様々な波及効
果を与えると考えられて
いる



4. 人材育成と省力化投資

(1) 手作りの方が早いパソコン/OS がない

(ソフトの見直し)

(2) 情報伝達にメモ/LINE を使っている

(仕事の生産性)

(3) 未だに手書き伝票を作っている

(道具の進化)

(4) 最新ツールの導入が遅い

(システムの最新化)

(5) IC タグの方向

(6) コスト問題の吸収

5. 人手不足は少子高齢化の問題にあらず

大前研一(日本論点 2016－2017)

人が取れるか。取れないかは、あくまで需給関係次第。一方的に設定した賃金で人が集まらないのだから、人が集まる賃金にするしかない。

—人が取れるか取れないかは、需要と供給の関係—

人手不足を解消する方向は2つ。一つは人が集まる給料を支払うこと。その労働コストを賄えるだけの値段設定のできる商品を提供すること。これが出来ないなら、コンビニに負ける。競争相手は似たような外食産業ではない。

—経済の原則は適者生存、人が集まらないのは適者ではない—

日本の間接業務の生産性は非常に低い。アメリカの50%以下という状態が一向に改善されない。業務のやり方は新興国よりも遅れている。コンピュータや通信機器がこれだけ進化しても日本の間接業務のコストはまったく変わらない。仕事のやり方、間接人員の改革が余りにも遅れている。星野リゾートの再生手法の基本はマルチタスクである。

—間接業務のやり方に改革が必要—

—日本に生まれる1,000万人の余剰労働力—

労働生産性の向上と間接人員の改革が労働力不足を改善する。

6. AI で公認会計士はいなくなるか

(H30.6.15 会計士会研修 神崎時男先生)

- (1) 近い将来に起こること
- (2) 最新の会計システム
SPA、富士通 WORKS(大手パッケージ)、MF クラウド…
作業の省略化、領収証入力→記帳
- (3) 分析能力の向上
ハードディスクを使わずに、メモリーだけで演算処理
- (4) データベースにデータを蓄積せず、メモリーで処理
分析的手続きの自動化、監査調書化
- (5) 不正対応 (大手パッケージ)
不正対応、異常仕訳検出機能、不正パターン検出機能、利益相反取引対応、
振込変更対応、与信先承認対応、CAAT ツール機能のパッケージ化
- (6) IT 統制
職務分掌処理、未利用のユーザ ID の検出、各種機能の利用設定状況の確認
- (7) 業務能力の向上のための機能
データセクション、会社の処理結果との照合
- (8) ディープラーニング
データの特徴を見出すことができる
① フレーム問題、シンボルクラウディング問題
- (9) 統計的自然言語処理
人間の言語を把握して、分析する能力
① 彼は美しい庭園で望遠鏡で女性を見た→②
② 彼は望遠鏡で、美しい庭園にいる女性を見た
- (10) 営業支援ツール
監査計画におけるリスクポイントの事前支援の可能性
① 膨大な情報 — 必要な情報の収集、分析
② 〃 — 必要な経営環境、計画
- (11) 犯罪予測
① 発生場所を予測し、その場所へ警官の事前派遣による犯罪件数の減少(アメリカ)
② 不正を行う可能性の高い従業員の事前防止(シンガポール)
 メール、取引履歴等 20 個以上の指標
③ データベース化、パターン認識
- (12) 経済記事作成業務(アメリカ)
企業に関する経済記事を AI 技術で作成、時間の短縮と記事の公平性
- (13) 次世代監査
① 監査計画 — リスクポイントの提示、ディスカッション
② 分析的手続き — 事前の各種趨勢分析、異常データの AI 判定
③ 内部統制監査 — システム統制—IT 統制の設定状況の把握
④ 実証手続 — 自らのシステムの処理と会社のものの全件照合

深刻な問題と新しい世界

平成 28 年 1 月 1 日（金）

「“今回はちがう” シンドロームの本質は、…いま自分の身に降りかかるものではない、…だが残念ながら、巨額の債務に依存する経済はきわめて脆い。…知らないうちに断崖絶壁を背にして座っているようなもので、…あっという間に谷底に転落する。」

(国家は破綻する カーメン・M・ラインハート外著 村井章子訳 日経 BP 社 2012 年発行)

15 年位前、新宿のハイアットホテルで、全国法人会連合会の税制委員 450 名余での税制セミナーがあった。当時 600 兆円に迫ってきた国家債務による将来の経済破綻について、次官経験者の前国税庁長官に質問したことがある。

壇上からの返答は、「日本人は賢明だから、そうなる前に対処し、そんなことにはならないと思いますよ」とのことだった。

国のこれからを考えると、物足りない回答であった。

現在、財政支出超過や債務問題以外の長期的な問題も顕在化しつつある。

一つは、少子高齢化社会と忍び寄る労働力不足経済であり、いま一つは、社会保障給付の増加である。これらに充分に対応できる長期的な経済力の増強、新しい産業を生む力がこのままの日本にはあるとは言えない。

老年者の年金等の社会保障は極めて厚い。中国人の友人が、中国の老人は貧しいが、日本の老人は、旅行や食事にお金をたくさん使って楽しんでいる。老人が金持なのはなぜだろうと不思議がっていた。これに反して、日本の若者の所得水準は低く、教育改革は空回り、次代への再生産を行う能力は極めて低い。

戦後の奇跡の復興 — 1950 年から 1980 年代前半にかけての経済成長 —

— 1980 年後半のバブル — 1990 年からの失われた 20 年 —

— そして今後何が起こるのか。

このような現状 $f(x)$ を微分し、その結果を積分すると、将来の $F(x)$ は、円安の進行、長期債務残高の増加、国債の下落、インフレと、景気循環を超えた大不況という事態となる。

しかし、今後起きることは、このような計算でできるものではないし、政治家の言う現行の年金制度の救済でもあり得なく、別の、異質の、新しい基礎からやり直す世界のような気がする。

Ⅲ. A I と経済の発展

1. 経済発展の段階

(1)産業革命 (18C)
封建的土地所有から資本主義的土地所有

「もし、私が他の人より遠くを見
ているとすれば。それは私が巨人
の肩の上に立っているからだ…」

(2)第一次産業革命 (18C 末)
蒸気機関
経済が成長し続けるような時代の始まり

アイザック・ニュートン

(3)第二次産業革命 (19C 中)
鉄造、内燃機関、電気

偉大な先人達の積みあげた知識

(4)第三次産業革命 (20C 末)
コンピュータ・インターネット 情報革命

(5)第四次産業革命 (21C 前半)
AI、特化型から汎用型へ

2. 日本の経済的運命

イノベーション

(1) 古い生産方式の見直し

(2) 行きづまった社会への挑戦

(1)AI は人手不足の解消するか? (楽観論)
生産性の向上
経済構造の変革 (人→機械)
経済成長の促進

(2)AI は技術的失業を招くか? (悲観論)
生産性の向上は労働力を節約する

(3)日本経済は成熟しきっているか?
衰退より外はないか
オリンピック後ゼロ成長か

(4)果実は食べ尽されたか?
技術進歩が経済成長をもたらす
この 20 年間の平均成長率は 1% くらい
容易に収穫できる果実は食べ尽くされたのか

別のものが食べつくされていない

2. 人工知能と発達と未来

ロボット ——— 身体、ハードウェア

AI ——— 頭脳、ソフトウェア

1956 年計算機科学者がアメリカのダートマス大学で開いたダートマス会議

1980 年代 エキスパートシステム商用化 日本で第五世代コンピュータプロジェクト開始

1990 年代後半からの AI の活躍—アマゾン、1997 年ディープ・ブルーがチェスの勝者、2011 年ワトソンがクイズ番組のチャンピオン、2015 年コンピューターが羽生名人に不戦勝、2016 年グーグルのアルファ碁がプロ棋士に勝つ

2006 年 ディープラーニング研究が加速

2012 年 米国グーグルがネコを認識する人工知能を開発

日本政府の成長戦略

- (1)IoT—あらゆるものをインターネットにつなぐ
- (2)ビッグデータ
- (3)AI

経済システムと産業の変遷

(人工知能と経済の未来から)

				特化型 AI の時代		汎用 AI の時代	
				第四次産業革命			
紀元前 1 万年	第一次産業革命	第二次産業革命	第三次産業革命	2020	2030	2100	
BC10,000	1760	1870	1995	2020	2030	2100	
定住革命	蒸気機関	内燃機関 電気モーター	インターネット パソコン	言語の壁・画像認識 ビッグデータ・ペッパ 雇用を奪う ロボット・自動運転	汎用 AI・全能アーキテクチャ 異常検知(センサー)	言語理解 生命の壁	全能エミュレーション

3. 人間の労働への影響

(1)なくなる職業

肉体労働－事務労働－頭脳労働
 肉体、事務労働の機械への代替

(2)所得構造の変化

中央値の変化

(3)職業構造の変化

雇用の未来

(4)シンギュラリティ（2045年予言）

コンピュータが全人類の知性を超える未来のある時点
 既存の法則、人間の能力が通用しない時点

（singularity 技術的特異点 2015年カーツワイル）

2015年時点 1,000ドルコンピュータの計算速度－ネズミと同程度

2020年 " " " ー人間一人の脳と同程度

2045年 " " " ー全人類の脳全てに比肩するまでになる



①これまでの法則が通用しない

②想像もできない途方なことが起きる

1. 1910年前後、ハリー・フォードの事業が成功していった頃、

「やがて、自動車は17万の輪流手段になるだろう」という予測がなされた。
 ー これはそれは30年後のこととされた。 (予言的)

このとき、ウィリアム・C・デズラートは

「それはすくなくとも」という疑問を提起した。
 ー 来ているのかと

2. 答えは明らかになった。

影響はまた現れていかなかった。 それはすくなくとも

デズラートは、この洞察に基づき、後のGMを構築し、新しい機会と
 市場に適用する。 中小の自動車メーカーと 部品を結合した。
 (適用) X-N

3. 後で、最初に発する方向は、「われわれ自身は、社会、経済、
市場や顧客、資源や技術などについている。 それは今も
有効か？」となければならぬ。

4. 3A-2の1-1マップは、その設定の当初から、貧しい者の金とまた、
金持の金と同じように、購買力に転換することの必要を
 あると考えていた。

すくなくとも未来 ... それは洞察力がある

企业家的战略

1.1 ノーショウと企业家的战略

1. 企业家精神 (市场における地位の確立)

(1) 企业家的经营管理

企业の内部における政策と実践¹⁾

(2) 企业家的战略

企业の外部なる市場における政策と実践¹⁾

四つの戦略 (市場的地位の確立)

① 総力をもって攻撃すること

Furthest with the Mostest

一度の投入で全部を投入し、失敗は許さない
Hit them where they ain't 独占的地位の確立

② 手薄なところを攻撃すること

創造的模倣と企业家は素直に市場地位の確立

③ 生態的地位を確保すること

Ecological Niche

小さな領域において独自の地位を確立する

④ 製品や市場の性格を変えろこと

Hit them where Ain' t

"Hit them where they ain' t" They might be called
creative imitation and entrepreneurial judo, respectively

最初にイミテーションを行った者より、そのイノベーションを模倣するところを
よく理解する。 ENIAC に対する IBM

日本がセイバー、フーテンデューを標準型として開発するに至った。
創造的模倣を戦略とし、スイズの得意な頃には、セイバー世界の
標準となり、スイズの時代は市場から姿を消した。

--- セイバーが建造した頃には、市場調査により、顧客が何を求めているか、どのような
買っているか、どのような価値があるものか、どのような把握の仕方があるか、

Ecological Niches 生態学的地位

小さな領域において、実質的な独占を実現すること。

- (1) トールゲート戦略 (道路 料金所)
- (2) 専門技術戦略
- (3) 専門市場戦略

競争的戦略に成功したものは、企業といえども存在。大企業になる。

生態学的戦略に成功した者は、名よりも実を取るようになる。

これらの企業は、目立たない、市場の中の贅沢に暮らす。

Changing Values and Characteristics

(24)-1

All the strategies to be discussed here our thing in common. They create a customer -and that is the ultimate purpose of a business, of economic activity. in four different ways.

- (1) by creating utility
- (2) by pricing
- (3) by adaption to the customers soared and economic reality
- (4) by delivering what represented true value to the customer

旅客をつくり出す。実は顧客こそ、あらゆる経済活動の究極の目的である。

変化の価値観と顧客特性

- (1) 物理的には何の变化もない
- (2) しかし、経済的には、新しいものが生まれる
- (3) 顧客をつくり出す

製品の例、サービスは何か新しいものではない。

たとえば郵便物。インターネット、動画や画像、経済的特徴性も変化している。経済的には新しいものが生まれてくるのである。

一つの共通項がある。すなわち顧客をつくり出すのである。

顧客こそ我々の目的であり、あらゆる経済活動の究極の目的なのである。

すべてそれぞれの世代は、新しい革命を必要とする
—トーマス・ジェファーソン—

存在の理由はもはやなくなり、かつての恵みは、悩みの種となる
—ゲーテ—

組織、制度、政策は、製品や工程やサービスと同じように、生命を失ったあとも生き延びようとする。

一度つくりあげたメカニズムは、いつまでも生きつづける。
しかし、それを設計する際に前提となったものは妥当性を失っているのである。

たとえば、過去 100 年にわたって、先進諸国において医療制度や年金制度を設計した際に前提とした人口動向態がその一例である。

まさに「存在の理由は、もはやなくなり、かつての恵みが悩みの種となる」のである。

イノベーションは分権的である。

シュペンター

イノベーションの対象領域

(経済発展の理論 1912)

企業家のもたらす動的な不均衡こそ
経済の正常な姿、経済の中心

企業家精神とはすでに行っている
ことを上手に行うことよりも、ま
ったく新しいことを行うことに価
値を見出すこと—

それは権威に対する否定の宣言な
のつた。企業家とは秩序を破壊し、解
体するものである。

(創造は破壊)

的

- 材
- ① 新しい財貨の生産
 - ② 新しい生産方法の導入
 - ③ 新しい販路の開拓
 - ④ 現在料の新しい供給減の獲得
 - ⑤ 新しい組織の実現

ドラッカー

(七つの機会)

- ① 予期せぬこと
- ② ギャップ 現実とかくあるべきの差
- ③ ニーズ ロ
- ④ 産業市場の構造変化
- ⑤ 人工の変化
- ⑥ 認識の変化
- ⑦ 発明・発見による新知識

創造は破壊

断絶の時代

過去の趨勢とは明らかに異なる
四つの地殻変動

- ① 新しい産業の時代 スティーブ・ジョブズ
過先の発明と経験→知識に基づく
- ② グローバル化の時代
情報が垣根を越える
- ③ 組織社会の時代
人々は組織の機会を求めるような
- ④ 知識の時代
知識が社会や経済の基盤となる
知識の生産性が競争力の源泉となる

Visio

No.

DATE 2018.06.25

1. 作図棒を引く 方法

① $\leftrightarrow$ 右側にドラッグ

② $\updownarrow$ 下にドラッグ

2. 文字を入力する

3. 図の拡大・縮小

4. 図の枠の作成

5. 図の枠への文字入力

図形にテキスト入力 RPP

No.

2

DATE

1. テキストを入力したい図形を選択する

キーボードからテキストを入力する

カーソルが表示される場合は **[F2]** を押す

入力終了後、図形にはもともと入っていたテキストをクリアする

2. 任意の場所にテキストを挿入する

①ホームタブをクリック

②ツールリ テキストをクリック

③テキストを挿入したい領域をドラッグする

④カーソルが表示されるまでテキストを入力

⑤テキスト入力中止、終了は、オフセット選択ツールをクリック

⑥テキストの編集 - **[F2]** キー - 編集

基本操作 A24

1. 図面ページの要素の表示

① 表示ツール

② ルーラー、グリッド(補助線)、グリッド(平行線)、オートコネクト、接続ポイント

2. ページの拡大、縮小、部分拡大

3. 図面ページと用紙の設定

明清 (1) 1368-1912

朱元璋在元末农民起义中力推群雄，推翻了元朝的腐败统治
(1328-1398)

建立了明王朝。他在政治，军事上作了一番革故鼎新的变革。

朱元璋参加了红巾军，时年25岁。

1976年4月、华とアメリカ連合事務所長、トーマス・ケネディと会談した。

この時の報告者は先見性のあるものだった。

「华は中国の個性が強く、移行期の理想の人物で、内外政策に革命的な
政策を打ち出している。」 「私は新政府、より佳のより指導者の役割を担うべき
人だと思う。华は歴史的存在意義を果した後、何をやるか押し出されて(中略)」

明清(5) 1518-1912

1616年，努尔哈齐建立后金，定都赫图阿拉（今辽宁新宾县），创建了统一的女真族奴隶国家。皇太极在位时期，后金完成从奴隶制向封建制的转化，改国号为清。

努尔哈齐（1559-1626）是女真酋长猛哥舒麻儿的六世孙，姓爱新觉罗，一度投到明守边名将李成梁帐下，喜读（金）（瓶）
<三国演义> 和 <水浒传> 接受过汉文化的熏陶。回建州后，被封为建州左卫都督，并加封龙虎将军。

努尔哈齐在统一女真各部的过程中，建立了八旗制度，平时耕猎，战时出征。

外債といっても、年金を供つて、これから米口債を買い込んでいる。
米中関係が悪化して、中口から米口債を売り出す事態となれば、
米口債は暴落して、日本の年金は減る。

日本の何の事でも世界の信託を失て、口債や株の暴落は
相場も年金は大きく目減りする。

明清(9) 1368-1912

在清前期对外贸易、中国长期保持出超

英国为了改变贸易中入超的不利地位，决定把鸦片作为对中国贸易的主要商品。乾隆年间，英国^东印度公司占领了鸦片产地孟加拉，1773年开始对中国经营鸦片贸易。

军队战斗力削弱，白银外流，百姓负担加重。鸦片输入成了当时严峻的社会问题。1839年3月，林则徐以钦差大臣身份来到广东禁烟。

明清 (10) 1368-1912

No.

Date

太平天国农民革命的领导人是广东人洪秀全 (1814-1864).

1851年1月11日洪秀全正式宣布起义, 建立太平天国.

中国史 (現代)

一帯一路

巨大な時代の中継り (中国の新たな国際協力モデル)

陸と海のシルクロード

(1) 陸 中国 - 東南アジア - 南アジア
中央アジア - 中東 - 欧州

(2) 海 中国 - 南太平洋 - 南インド洋 - 中東 - 地中海

(3) AIIB アジアインフラ投資銀行

法定資本 1000億ドル 10 兆円

12.5 兆円の投資

世界銀行、アジア開発銀行に並ぶ世界的金融機関

(4) シルクロード基金

(5) 主要投資範囲

① 基礎 ② 交通 ③ 都市開発 ④ 資源開発 ⑤ 物流

鄧小平

イスラエル・ファタ・ハム

No.

DATE

最後出題題

日本は日本を分裂させる。いかに経済成長させて行くか。

継続者は、それだけの指導力があるのか。

・ 胡耀邦の内部

趙紫陽の内部

最終的に、日本の中核事業上の「問題」にすぎない。

中核は、「尖閣列島の存在」については問題が存在する。

どうして日本が認めない限り、まず譲歩する必要がある。



一帯一路と中国の皇帝 (中国の統治の歴史)

(1月のごあいさつ)
平成30年1月1日(月)

陳舜臣先生の中国の歴史を読み終えた。史記や三国志や十八史略も併読しながら、最後は習近平の全地球的経済発展戦略(一帯一路)にも目を通した。

中国の歴史を見て、**皇帝(強力な指導者)**には二つのスタイルがあるように思う。それは、中国という大国を統治することに主眼を置いた皇帝と国際的な視野で中国を拡大した皇帝である。

中国を統治した皇帝の第一は、言うまでもなく、**秦の始皇帝**である。春秋・戦国の諸侯や英雄が並立する時代を、歴史上初めて一つの中国にまとめた英雄は始皇帝である。次に秦の短い統治を反省し、四百年間の漢の時代を開いたのは、楚の項羽を下し漢を建国した**高祖劉邦**であった。その後再び分裂した中国を統一したのは隋であり、**隋を継いだ唐**である。蒙古による異民族支配に取ってかわり、漢人の政権を打ち立てたのは、**明の洪武帝朱元璋**であった。時を経て現在の中国を統一した指導者は**毛沢東**である。これらの強力な皇帝は中国という大国を一つにまとめた。

これらの皇帝に対し、中国の外に目を向け、国際性を目指した皇帝がある。その第一は**漢の武帝**である。高祖、文帝の国内の蓄積を活用し、匈奴を撲滅するという戦略の下に、遠くローマまでのシルクロードを開いた武帝は、中国を一気に**世界帝国**へと飛翔させた。武帝の後も唐の都長安は玄宗の盛唐時代を中心に国際的都市であった。その後、帝国の版図拡大に努めた皇帝は**元の成祖フビライ**であり、シルクロードを経由した東西の往来は軌道に乗り、国都大都(北京)には東方見聞録を著わしたマルコポーロも訪れている。**明の永楽帝**は韃靼を討ち、鄭和を南海、遠くアフリカまで派遣して諸国を従わせた。

2014年11月、中国で開催されたアジア太平洋経済協力首脳会議で、習近平総書記は、中国西部から中央アジアを経由してヨーロッパへつながる「**シルクロード経済ベルト**」(一帯)と中国沿岸部から東南アジア、アラビア半島、アフリカ東岸を結ぶ「**21世紀海上シルクロード**」(一路)の二つの地域を中心に世界経済圏構想を提唱した。そして、その実現へ向けたアジアインフラ投資銀行(AIIB)やシルクロード基金の創設などの諸政策は顕在化しつつある。

他国の内政に干渉せず、体制モデルを押し付けないこの戦略は、従来のアメリカによる**軍事的リーダーシップ**とは一味違う、世界の経済的繁栄を主眼とした考え方であり一目に価する。

习近平の改革

エッセイの著者 鄭小平を話して

腐敗を改革 必要か

江氏の要望

指導者の問題と

腐敗との闘い (鄧小平、周永康では不充分)

みんな腐敗を思っている

社会主義市場経済の中の私有財産と党 (フー・フー・メイ/合/わ/た/い)

権力と私有財産 ----- 腐敗

構造的問題を取り除く方法はあるか?

地方都市の改革 - 土地の開放 - 都市の幹部の介入

- 共産党という利権集団 (寄生体)

↓
常に~~新しい~~新しい氏を満足させる方法の創出

(1) 台湾の統一の復旧、統一 (香港の失敗)

(2) 経済成長の維持

(3) 新しい思想 (一帯一路) の実現の成功

(4) 腐敗問題の解決方法

(5) 司法の独立

(6) 腐敗との更なる闘い